



学校評価特集号
平成28年3月
京都市立柏野小学校
校長 塩見考次

第2回 学校評価へのご協力ありがとうございました

2月初めに、今年度2回目の学校評価をお願いしました。お忙しい中、回答いただきありがとうございました。みなさまからの評価とご意見を集約し、今年度の成果と課題として整理しました。回答率は72%（前回は76%）でした。

◎…よくあてはまる ○…どちらかといえばあてはまる △…どちらかといえばあてはまらない ×…あてはまらない
「◎」か「○」という結果が出た項目を、「達成している」項目と考えています。

保護者の方々に回答をお願いした評価項目		◎+○の割合
学校の取組について	① 学校は、教育方針や取組を学校だよりや懇談会等の機会にわかりやすく伝えている。	98→ 96%
	② 学校は、一人一人の子どもを大切にした学校づくりに取り組んでいる。	98→ 96%
	③ 学校は、様々な取組や行事を通して、家庭・地域と連携し、子どもの教育を進めている。	99→ 97%
	④ 教職員が熱意をもって教育を進めていることが保護者に伝わっている。	97→ 96%
	⑤ 学習の内容や進度を懇談会や学年・学級通信等によってよく知ることができる。	99→ 96%
	⑥ 子どものことについて学校に気軽に相談できる。	93→ 94%
	⑦ 教職員は、保護者や訪問者などにていねいに対応している。	99→ 98%
	⑧ 子どもは、楽しく学校へ行っている。	95→ 94%
	⑨ 子どもは、しっかりとあいさつができる。	82→ 85%
	⑩ 子どもは、学習内容が理解でき、基礎的な学力が身についている。	87→ 88%
	⑪ 子どもは、自らの学習課題をもって、宿題など家庭学習を決められた時間（15分×学年）取り組んでいる。	70→ 67%
	⑫ 子どもは、家でも15分くらいは読書している。	36→ 36%
	⑬ 家庭では、早寝早起き、持ち物の用意など、基本的な生活習慣が身に付くようにしている。	89→ 84%
	⑭ 家庭では、子どもの話を受けとめ聞くようにしている。	96→ 94%

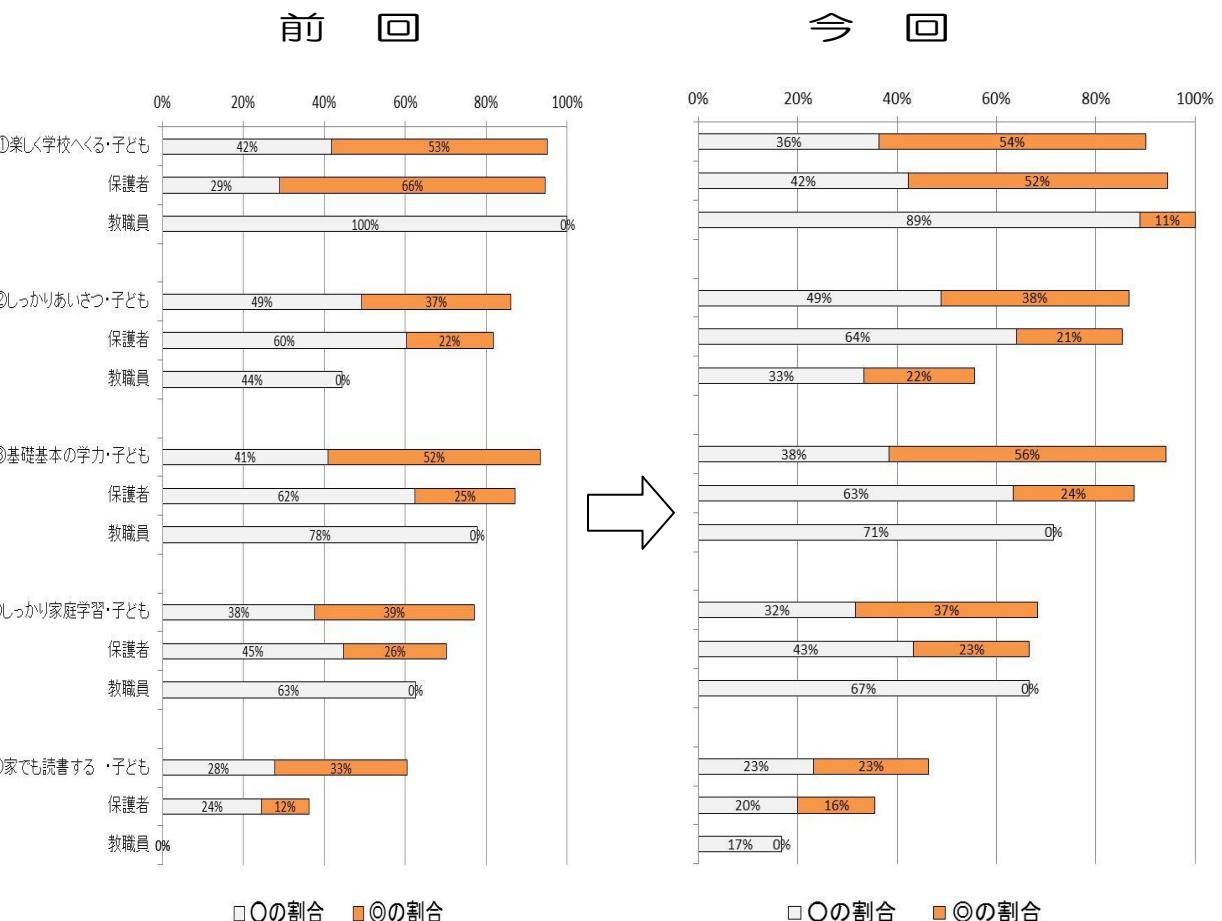
左側は前回7月の結果

*例年、達成率の低い「⑪家庭学習」「⑫家庭での読書」以外は、8割以上の高い達成率でした。しかし、わずかにポイントが下がったという項目がとても多いことが気になります。「⑨しっかりとあいさつができる」は少し上がりました。

◆「子どもたちのようす」について … 代表的な5項目の結果を比較
この5項目は、子ども・保護者・教職員の評価に共通する内容の項目です。

項目の主旨	◎+○の割合 左側は前回		
	子ども	保護者	教職員
①楽しく学校へきている。	95→ 90%↓	95→ 94%	100→ 100%
②しっかりあいさつしている。	86→ 87%	82→ 85%	44→ 56%↑
③基礎・基本の学力を身につけている。	93→ 94%	87→ 88%	78→ 71%↓
④しっかり家庭学習に取り組んでいる。	77→ 68%↓	70→ 67%	63→ 67%
⑤家でも15分くらいは読書している。	61→ 46%↓	36→ 36%	0→ 17%↑

5ポイントを超える変化に↑ ↓



◆楽しく学校へきている

子どもの評価は下がりました。保護者は、達成率（◎+○）はあがりましたが、○の割合は下がっています。良くない結果と捉えています。達成率（◎+○）100%を目指し、子ども一人一人に、学級集団にしっかり注目して、△や×をつける原因を除いていけるように取り組みます。

◆しっかりあいさつをしている

子ども自身と保護者は前回よりわずかに上がりました。教職員は、低い達成率ながらも上がり、◎の割合も増えました。学校運営協議会委員の方々にお願いした評価項目「子どもたちは、自分からしっかりあいさつできていますか。」では、7月の55%から51%へ下がりましたが、生の声としては、「きちんと挨拶しますね。」ということも多く言っています。今後も、自然に気持ちのよいあいさつができるよう周囲の大人から働きかけていきましょう。



◆基礎・基本の学力を身につけている

子どもにとっては、「先生と一緒に勉強はよくわかりますか」という質問文ですが、◎の割合も上がり、年度の最後に手ごたえを感じてくれているようです。しかし、達成率の順が、子ども→保護者→教職員となっています。教職員は前回から下がり、約70%に留まっています。子どもたちの達成感や成就感に見合った学力が付くよう努力しなければなりません。来年度も、少人数の特性を生かし、実態に合わせたきめ細かい指導を行います。また、毎日行っている放課後まなび教室、家庭学習と連携して、すべての子に基礎・基本の学力がつくよう取り組むことに変わりはありません。

◆しっかり家庭学習に取り組んでいる

三者とも70%を切っていて、改善する必要を強く感じます。今回は保護者と教職員の結果は横ばい、子どもの結果が大きく下がりました。例年、年度末に達成率が下がる傾向が続いていますので、子どもも家庭も学校も、年間を通して家庭学習への意識をしっかりもって取り組んでいきましょう。家庭学習は学力向上のとても大きな要素です。



◆家で読書している

毎回、評価結果が上がらない「家庭での読書」時間です。評価項目の表現に「15分くらいは…」という時間設定をして三年目ですが、今回も半分以上の子が15分さえも本に向かってないという結果となりました。保護者、教職員の低評価もそれを裏付けているようです。しかし、クラスでの子どもたちの様子や図書室の貸し出し状況からは、柏野の子どもたちが読書好きではないとはとても思えません。来年度も、学校・家庭共々しっかり働きかけていきましょう。春休みは絶好の機会です。本に親しむ時間や機会をぜひつくってください。

●子どもたちの評価結果より・・・

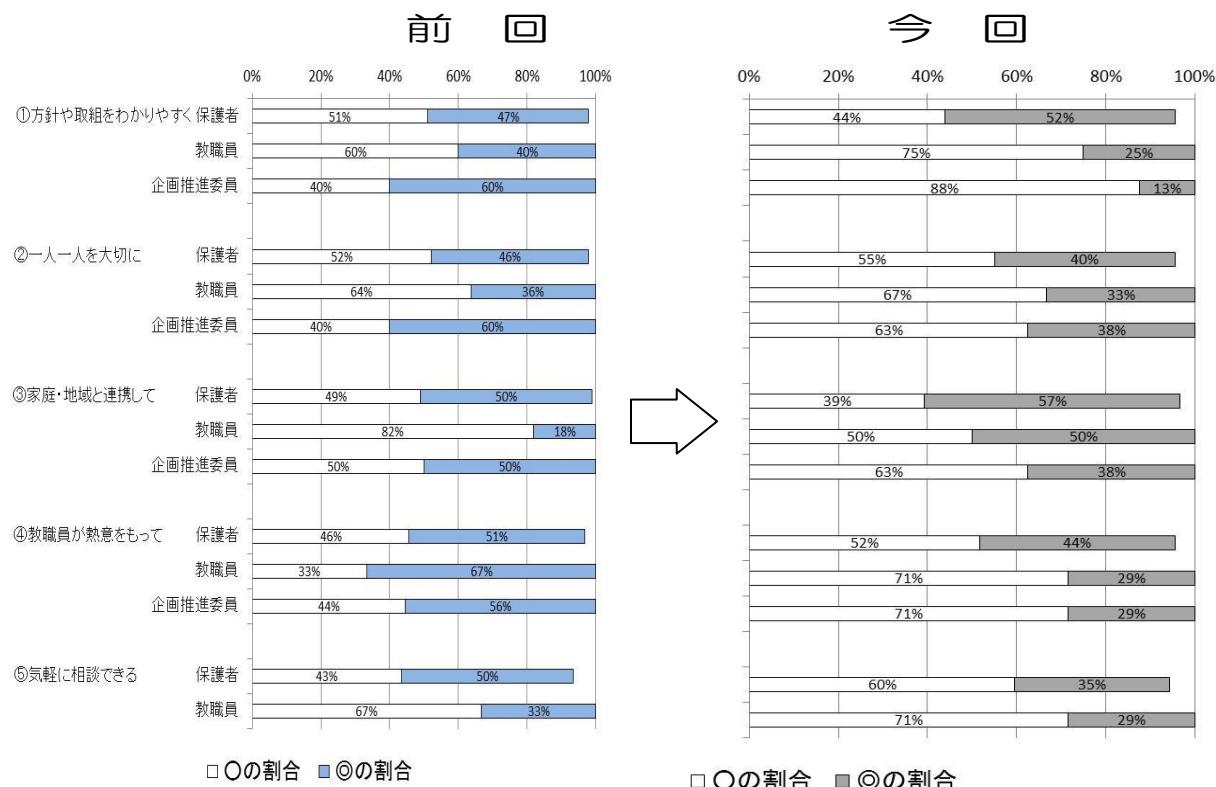
子どもたちの評価（15項目）から、学校教育目標の具体的テーマ、①「わたし（も）します」と言える子については、前回46%→今回46%と横ばいでいたが、②「何かわたし（も）できることはありますか」と言える子については、40%→50%と上がりました。常々意識させ、育てたい資質として今後もじっくり取り組んでいきます。

「自分の考えや思いをしっかり話せるか」は72%→72%，コミュニケーションの力としていろいろな場面で伸ばしたいと考えます。「学校や学級のきまり・約束を守っているか」は94%→91%，きまりだけでなく全体に規範意識をさらに高めたいと考えます。「先生に何でも話せるか」は71%→66%，大きな反省点としてとらえ、改善していきます。

◇「学校の取組」について … 代表的な5項目の結果を比較

この5項目は、保護者・教職員・企画推進委員の評価に共通する内容の項目です。

項目の主旨	◎+○の割合		左側は前回		5ポイントを超える変化に ↑ ↓
	保護者	教職員	企画推進委員	企画推進委員	
①方針や取組をわかりやすく伝えている。	98→ 96%	100→ 100%	100→ 100%	100→ 100%	
②一人一人の子どもを大切にした学校づくり。	98→ 96%	100→ 100%	100→ 100%	100→ 100%	
③家庭・地域と連携して教育を進めている。	99→ 97%	100→ 100%	100→ 100%	100→ 100%	
④教職員が熱意をもって教育を進めている。	97→ 96%	100→ 100%	100→ 100%	100→ 100%	
⑤子どものことについて気軽に相談できる。	93→ 94%	100→ 100%	100→ 100%	100→ 100%	



◆すべて90%以上の達成率で、学校の取組を概ね評価いただいたものと考えます。しかし、保護者からの評価がこの期にわずかですが下がっていること、それぞれ、◎の割合の増減など気になるところもあります。

記述欄には、保護者の方から担任・学校の取組に対する感謝の言葉もいただいているが、反対に叱咤の言葉もありました。真摯に受け止め、改善努力します。また、学校運営協議会の企画推進委員からは、今年も「学校は何かと頑張っている」「地域の方への教職員の対応がよい」というお褒めの言葉をいただきました。来年度も、保護者や地域の皆様と一緒に柏野教育を発展させていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。